

一口にいぼといつてもたくさんの種類があります。皮膚の老化で顔や首、体などにできるのが、老人性のいぼです。良性の腫瘍で、液体窒素を当てる冷凍療法や、麻酔をして炭酸ガスレーザーで電気で焼き取ればほとんどは治ります。

このほか、他の場所に移るウイルス性のいぼがあります。これは表情が豊かです。指や足の裏、顔などにでき、どんどん増えて大きくなる硬くてカサカサしたタイプもあれば、顔や手の甲にでき、平らなタイプもあります。

子どもに多いのは、つるつとしてドーム状の通称「水いぼ」です。ウイルス

皮膚の病気あれこれ

岩崎泰政

5

いぼ



イラスト・霜野美香

性の水いぼは、医療用のピンセットでいぼの中身のウイルスの塊をつまんで取り出せば治ります。

基本的な治療方法は老人性のいぼと同じですが、数日痛みが残ります。薬品でいぼを変質させ剥ぎ取ったり、ヨクイニンというハトムギエキスの薬を飲んだり、薬品によってかぶれたり、せたりする治療を併せて行なうこともあります。

福山市
(岩崎皮ふ科・形成外科)

治療法は多彩 根気よく

イプです。何度治療しても再発を繰り返し、長く通院してもなかなか治りません。とくに足の裏のいぼは、体重が加わり皮膚の深くまで入り込むので、歩くと痛みを感じます。「うおのめ」や「たこ」と間違えられることもあります。

昔の人もいぼの治療に大変困り、最後は神頼みだったことが想像できます。現代は、多彩な治療が受けられるので、いぼを見つけたら早めに皮膚科医に相談しましょう。

これだけ治療に抵抗するいぼがまれに、免疫力によって、ある日突然ボロツと取れることがあります。ただし、自分の免疫力を期待して治療しないでおくと、多くの人はいぼだらけになってしまいます。根気よく治療することが大切です。